

温室効果ガス排出量算定結果

清水町は令和 7 年度に「清水町地球温暖化対策実行計画（第 4 版）」を策定しました。本計画は令和 7 年度から令和 12 年度の 6 年計画であり、役場の事務事業により排出される温室効果ガス（CO₂換算）の排出量を 6 年間で基準年度（平成 25 年度）と比較し 50%削減することを目標としています。

令和 6 年度の二酸化炭素排出量は 1,352.5 t-CO₂であり、令和 5 年度（1,316.9 t-CO₂）と比べ 2.6%増加となっており、本計画における基準年度（平成 25 年度）と比較しても、11.5%増加となっています。

増加の主な要因は、電気使用量の増加によるものであり、これは令和元年度から町内小中学校に導入が始まったエアコンの使用や令和 2 年 7 月に開館した複合施設（旧図書館、保健センター）によるものと考えられます。

令和 6 年度排出量

（単位：t-CO₂）

排出量	平成 25 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	基準年度比（増減率）
車両※ ¹	26.4	21.1	19.7	-6.7（-23.4%）
機械等※ ²	238.9	205.3	205.1	-33.8（-14.1%）
電気※ ³	948.2	1,090.5	1,127.7	179.5（18.9%）
合計	1,213.5	1,316.9	1,352.5	139.0（11.5%）

※ 1 車両は自動車の走行に伴う排出

※ 2 機械等は燃料の燃焼に伴う排出

※ 3 電気は他人から供給された電気の使用に伴う排出

削減目標：基準年度（平成25年度）の 50%削減

（単位：t-CO₂）

排出量	平成 25 年度	目標値
車両※ ¹	26.4	13.2
機械等※ ²	238.9	119.5
電気※ ³	948.2	474.1
合計	1,213.5	606.8